

NIIポータル研修資料

2007年 名古屋会場

● 前提条件

- 機関リポジトリを始めて設立する大学の図書館職員
- 全学の事業として機関リポジトリを設立する
- 全学の事業だが、図書館及び図書館委員会が担当する
- 説明対象は、リポジトリもオープンアクセスも知らない学内の教員
- 説明する場所は各部局の教授会
- 図書館内では事業として認知されている
- システムは導入済みで画面とサンプルを紹介することはできる
- 全学の紀要や報告書をデジタル化可能な予算は(当面は)ある

図書館が新しい事業を始めました

平成2007年7月13日(金) 図書館情報学部教授会

- どのようなサービスか？
- 中身は何か？
- 著作権は大丈夫か？
- どんな仕組みで誰が利用できるのか？
- 公開するとどのようなメリットがあるのか？
- 最後に図書館からのお願い
- 図1～5

どのようなサービスか？

- 大学の**教育・研究の成果(研究成果)**をデジタル形式で保存し、大学の成果としてインターネット上で公開するサービスです。図書や雑誌のように恒久的な保存も目指します。
- **研究成果**は図書館のサーバシステムに保存して公開します。このサーバシステムには名前があり、**リポジトリ**と呼ばれます。
- **リポジトリ**は、「**電子的な保存書庫**」を意味します。図書館の中にある更に小さな図書館をイメージしてください。この保存書庫は**先生方の研究成果のための電子的図書館**です。世界中の大学で導入が進みつつあります。→**図1、図2**

中身は何ですか？

- 学外の学術雑誌に掲載した**査読済みの学術論文**
- 学内の**紀要や報告書**などに掲載した論文や研究報告
- 科学研究費報告書やCOE関連の報告書
- プレプリントやディスカッションペーパー、学会発表資料
- 指導した学生の学位論文
- 授業に使うために作成した教材や資料、電子教材
- 一言で言うと、**教育・研究に伴う知的活動の成果**がリポジトリの対象になります。

図1 リポジトリとは何か

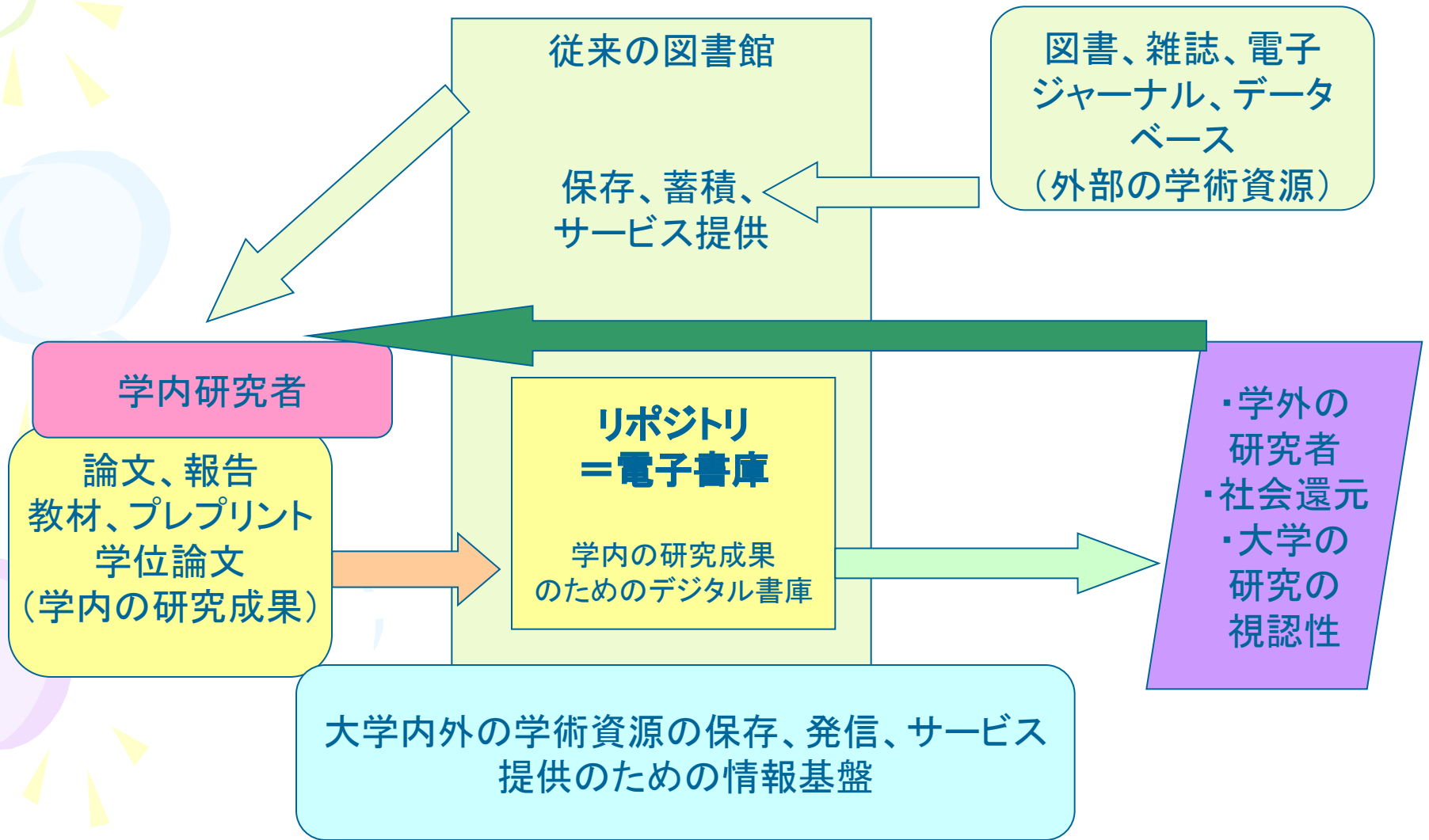


図2 世界のリポジトリ 現在900以上



HUSCAP Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers
Copyright © 2005 Hokkaido University. All Rights Reserved.

北海道大学
Scholarly Journals
Theses

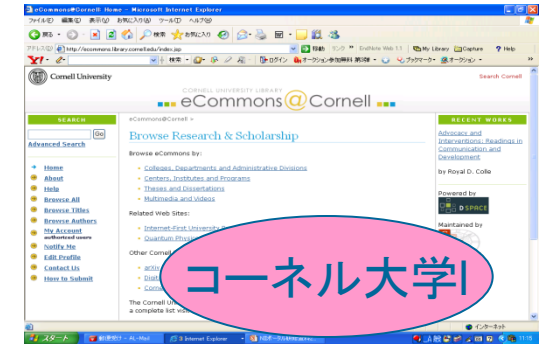
北大



Kanazawa University Repository for Academic Resources
KURA 金沢大学学術情報リポジトリ
Kanazawa University Repository for Academic Resources

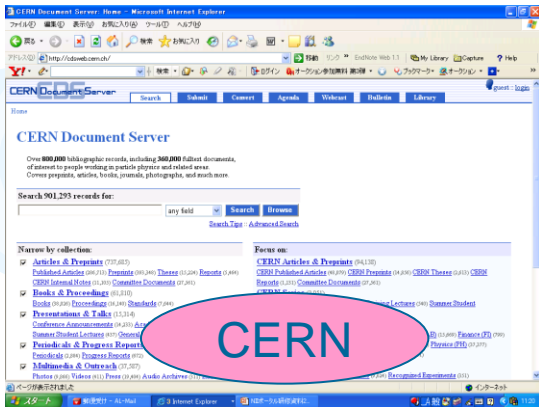
リポジトリ概要
KURAについて
リンク

本学
テスト運用中



eCommons@Cornell
Browse Research & Scholarship

コーネル大学



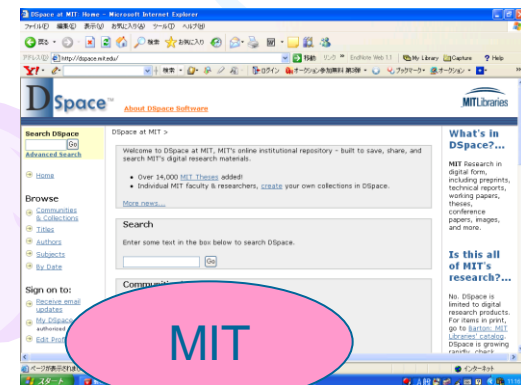
CERN Document Server
Over 800,000 high-quality records, including 300,000 full-text documents, of interest to people working in particle physics and related areas.

CERN



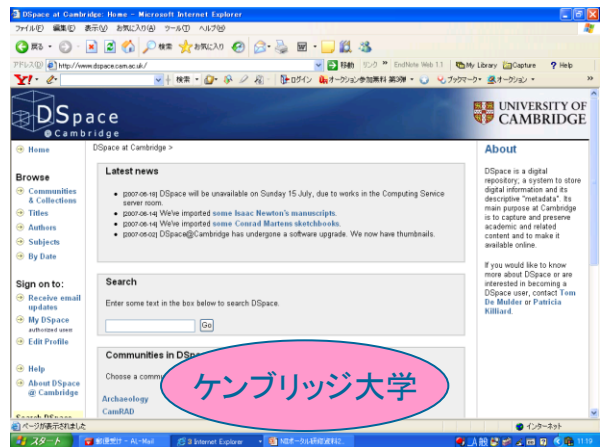
UT Repository
UT Repositoryとは？
登録者募集！

東大



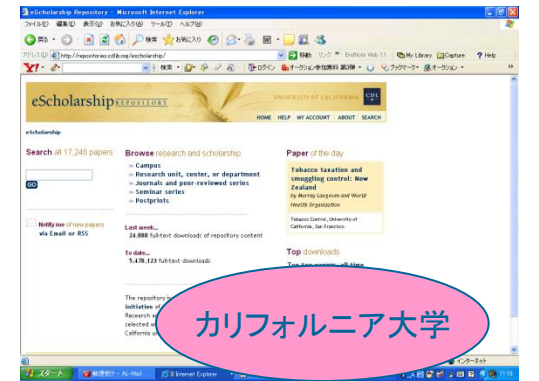
DSpace
About DSpace Software
MIT Libraries

MIT



DSpace@Cambridge
UNIVERSITY OF CAMBRIDGE

ケンブリッジ大学



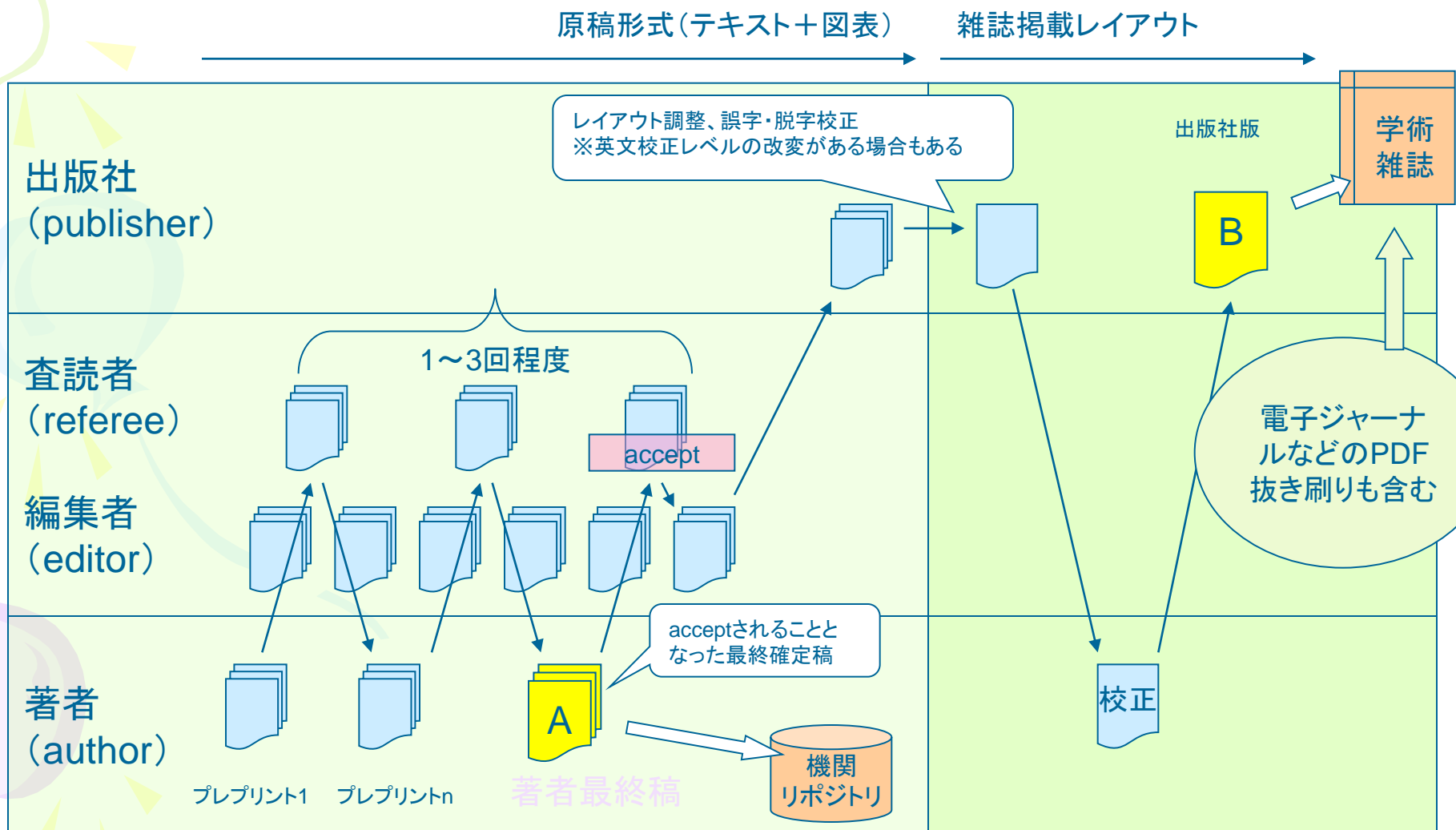
eScholarship
Search all 17,248 papers
Browse research and scholarship

カリフォルニア大学

著作権は大丈夫ですか？

- 大手出版社の多くが学術雑誌掲載論文のポストプリントやプレプリントのリポジトリでの公開を許諾しています。
- 例えば、Elsevier、Blackwell、Springer、Wiley、Natureなど著名な出版社の多くがこのような出版社です。
- ただし、これらの出版社が公開を許諾しているのは、大部分は「**著者最終稿**」と呼ばれる原稿です。→**図3**
- 電子ジャーナルで使える「**出版社版**」のPDFや**抜き刷り**などとは異なるものです。
- 原則として頂いた**研究成果**は全て図書館が**著作権上の許諾条件**を調査した上で公開します。国内でも学会を中心に許諾条件をデータベース化する事業が進んでいます。

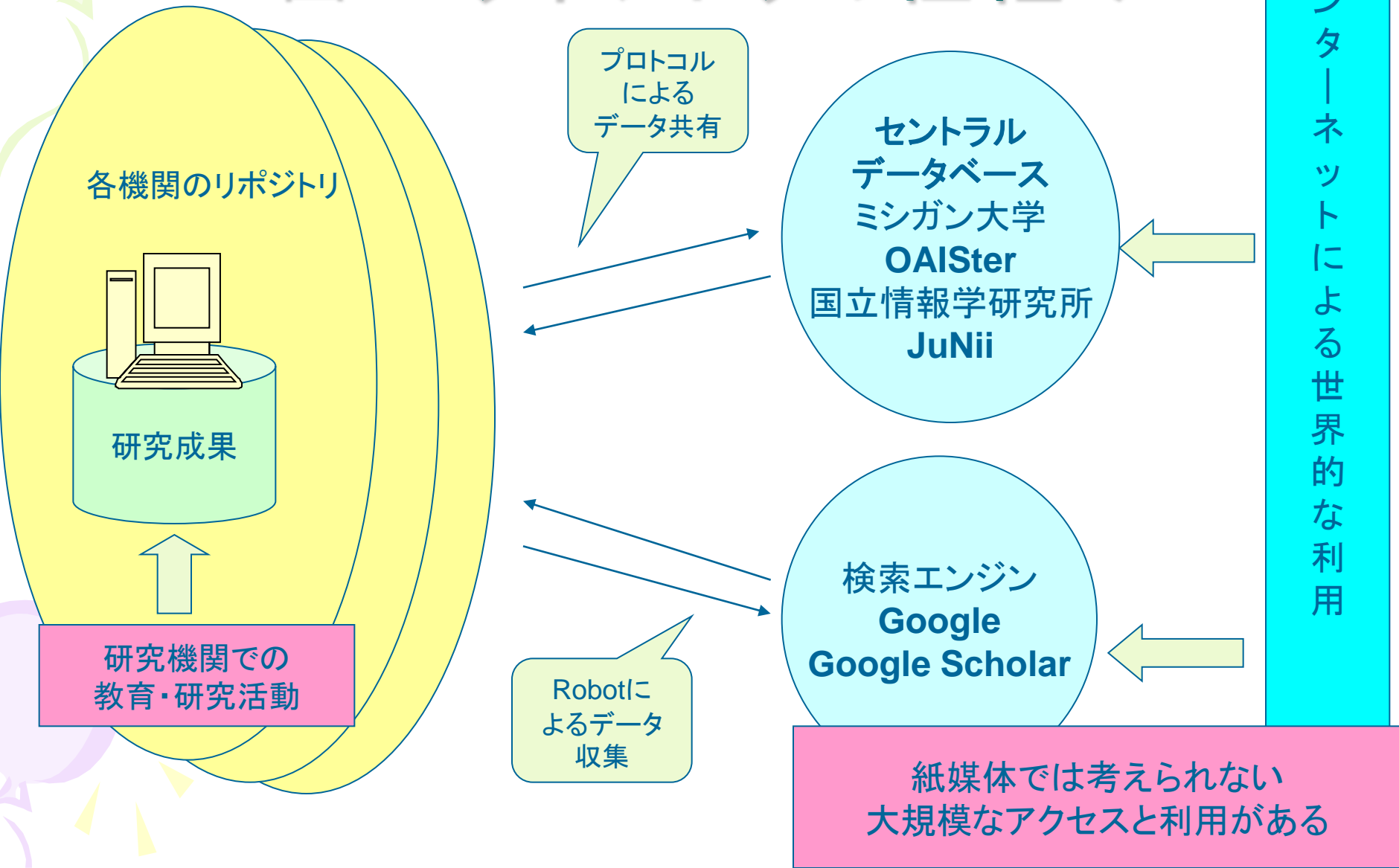
図3 編集・査読プロセスの例 (北大提供)



どんな仕組みで誰が利用できるのか？

- インターネット上で公開しますので、利用の制限はありません。**研究に関心を有する世界中の研究者、学生**などです。
- リポジトリのデータは、**特有のプロトコル**によって世界で共有されます。また、**Google**や**Google Scholar**などによっても検索可能となります。
- このようなりポジトリの仕組みにより、紙媒体では考えられないアクセスと利用が可能になります。
- こうして、各大学や研究機関の研究成果が広く世界に知られるようになります。それが**リポジトリの仕組み**です。→**図4**

図4 リポジトリの仕組み



公開するとどのようなメリットがあるのか？

(1)論文の引用度の上昇(←アクセス、ダウンロードの増加)

リポジトリで公開された論文は、有料の学術雑誌の論文より引用度が上昇することが報告されています。→[図5](#)

(2)研究機関や大学の研究の視認性の向上

大学や学部、学科といった組織での研究成果・業績の一覧機能や発信が可能になります。これを通して、大学や学部の研究の視認性がアップします。

(3)研究成果の恒久的保存

研究者の研究成果はこれまで保存の責任が明確ではありませんでした。リポジトリにより大学が責任を持って保存することが可能になります。

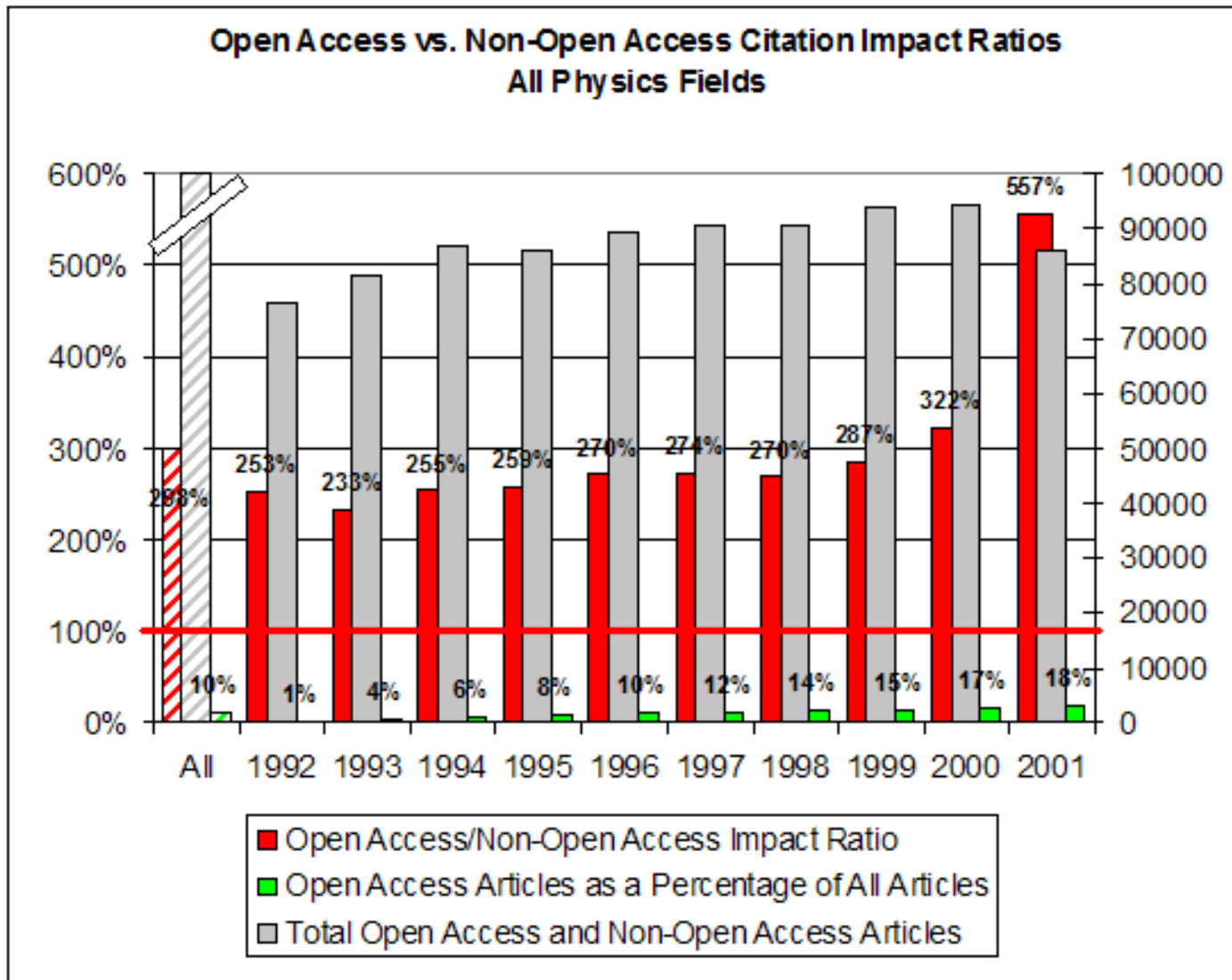


Figure 1. The OA Advantage in Physics.

物理学分野のオープンアクセス論文の引用の優位性
 arXiv.orgでプレプリントが公開された論文(ポストプリント)は2.5倍から5倍引用される

最後に図書館からのお願い

- (1) 論文を執筆される場合は是非**著者最終稿**を保存して、図書館にご寄贈下さい。図書館が責任を持って、デジタル保存し、インターネット上で利用可能とします。著作権上の許諾も図書館が責任を持って調査します。
- (2) **紀要や報告書**をデジタル化しませんか？**図書館の予算**でタイトルごとデジタル化し、保存・発信いたします。
- (3) ご所属の学科や専攻の**学位論文**をデジタル化しませんか？**図書館の予算**でデジタル化し、保存・発信いたします。
- (4) 出版社によっては**出版社版のPDF**の公開を許諾していますので、ご寄贈お願いします。(例)IEEE、APS、日本機械学会など

ご静聴ありがとうございました

- リポジトリに関するご質問、論文のご寄贈に関するご質問、紀要や報告書、学位論文などのデジタル化に関するご相談、ご質問は**下記の担当まで**お気軽にお寄せ下さい。
 - デジタル化の**予算についてもお気軽**にご相談下さい。
 - 論文のご寄贈は、下記メールアドレス宛**添付ファイル**で**ご送付**下さい。
 - 附属図書館スタッフ一同先生方のご寄贈を心よりお待ちしております。
- (1) 附属図書館リポジトリ担当 内島秀樹(ウチジマヒデキ)